

1 地理分野からの出題です。環境問題に関する文章をとおして、日本地理の基本的事項の理解を問うています。

- 問 1 扇状地についての理解を問うています。扇状地は盆地の周辺によく見られる水はけのよい扇形の傾斜地ですので、「水はけが悪い」という部分が誤りの②が正解です。
- 問 2 「飛騨山脈」が正解です。ひらがなでも正解とします。
- 問 3 日本における発電について問うています。原子力発電所はたくさんの電力を供給できますが、危険をとまなう場合があるため、一般的には「大消費地の近くに建設されて」いませんので、正解は④です。
- 問 4 ②は「横浜市」ではなく川崎市、③は「東京港」ではなく横浜港、④は、貿易額が「国内 2 位」の空港は関西国際空港ですので、①が正解です。
- 問 5 近郊農業に関する出題です。基礎的な学習事項ですのでおさえてほしい内容です。正解は③です。
- 問 6 中京工業地帯の産業別出荷額割合のグラフから、その割合が減少している工業の種類を考える問題です。④の繊維工業は安価な外国製品の輸入などによって、その出荷額割合を大幅に減少させています。
- 問 7 大阪市は瀬戸内の気候区に属しています。瀬戸内の気候の特徴は、年間を通して平均気温は高く雨が少ないことですので、②が正解です。
- 問 8 「食糧管理制度」が正解です。ひらがなでも正解とします。
- 問 9 文章の空欄の前後に「国土面積の 7 割」、「上流」、「緑のダム」とありますので、①を選ぶことができます。

2 歴史分野からの出題です。大阪府にまつわる歴史上の人物やことごとらについて述べた文章からの出題ですが、あくまで日本史の基本的事項の理解を問うています。

- 問 1 承久の乱について正しく説明しているものを選ぶ問題です。①は「源実朝を討つよう」、③は「荘園領主と地頭との争いが減った」、④は「ほうびをあたえることができなかった」という部分が誤りですので、②が正解です。
- 問 2 大阪の陣の時の征夷大將軍は「徳川秀忠」です。正しい漢字での解答のみ正解とします。
- 問 3 ①は高度経済成長期、②は 20 世紀初頭、そして④は第一次世界大戦にとまなうことごとらですので、世界恐慌の発生にとまなう昭和恐慌下のようすが述べられている③が正解です。
- 問 4 聖徳太子の事績を問うています。②は「蘇我蝦夷・入鹿」、③は「郡司」、④は「幼かった天皇」という部分が誤りですので、正解は①です。
- 問 5 「伊藤博文」が正解です。正しい漢字での解答のみ正解とします。
- 問 6 大塩平八郎の乱に関する出題です。大塩平八郎は大阪町奉行所の元役人で、ききんに苦しむ人びとを救おうと大阪で反乱をおこしました。②が正解です。
- 問 7 大化の改新を推進し、のちに藤原の姓をあたえられた人物の名を問うています。「藤原鎌足」または「中臣鎌足」が正解です。正しい漢字での解答のみ正解とします。
- 問 8 自由党についての説明が求められていますので、①は立憲改進黨、③は立憲政友会、④は立憲政友会あるいは立憲国民党をさしていますので、正解は②です。
- 問 9 「岩宿遺跡の発見」によって、それまでの日本の歴史における常識・通説とされていた「日本には旧石器文化(旧石器時代)が存在しないということ」が見直されるようになりました。
- 問 10 ①は寺内町、③は城下町、④は門前町についての説明文で、自治的都市としての戦国時代の堺について述べている②が正解です。
- 問 11 1990 年代初頭におこった「湾岸戦争」以外の選択肢は、全て 1960 年代のできごとですので、正解は③です。

3 公民分野からの出題です。憲法に関する文章を通して、基本的事項の理解を問うています。

問1 「欽定憲法」が正解です。ひらがなでも正解とします。

問2 天皇の国事行為にあたるのは①～③ですので、正解は④です。

問3 ①③④は裁判所に関する基礎的な学習事項です。日本国憲法では特別裁判所の設置が禁じられていますので、「行政裁判所」による審理について述べられている②が現在の日本の裁判制度にあてはまらないものとして、正解となります。

問4 日本国憲法第9条は重要な条文ですので、よく学習してほしいと思います。第9条では戦争の放棄や軍備および交戦権の否認が記されています。兵役の義務は第9条には規定されていませんので、正解は③です。

問5 解散請求や解職請求は、その地方自治体の有権者の3分の1以上の署名が必要です。②が正解です。

問6 憲法改正の手続きについての出題です。改正の手続きは④→①→③→②の順で行われますので、3番目にあたるものは③です。

問7 「特需景気」が正解です。ひらがなでも正解とします。

問8 2005年にニュースや新聞でとりあげられた出来事です。日本政府は「国際連合の安全保障理事会を改革し、日本などの国が常任理事国に加わることを提案しよう」としました。

問9 ②はプライバシーの権利、③は知る権利、④は環境権に関して述べた文章ですので、新しい人権に関わる事態にふさわしくないものとして①が正解です。